

## 【令和6年度障害児者医療研修事業 計画】

	事業名 (相談・アドバイザー)	講演・研修の内容	開催日時	対象者	講師 (実習等講師)	開催場所	募集人数
障害児者医療研修事業	①	遺伝療育講演会  医療・療育・教育現場の支援者が、個々の疾患特性をや行動特性に合わせた支援方法について理解を深める。 講演 「未定」	11月10日(日) 13:30～16:30	染色体及び遺伝子疾患を持つ子どもの支援にかかわる医師、看護師、リハビリスタッフ、教員、療育福祉関係者など	総合センター中央病院 医師 稲葉 美枝  リハビリテーション室長 小松 則登  名古屋大学 認定遺伝カウンセラー 森田 真未	ウインクあいち	80人
	②	重症心身障害児者医療療育推進講演会  重症心身障害児者が地域で安心して生活できるよう、支援者として必要な知識、情報を提供し、在宅生活・在宅支援の充実を図る。 講演 「6F-Wordsの紹介と、それを元にした支援の具体例、事例の紹介」(仮)	7月6日(土) 13:30～15:00	重症心身障害児者医療に関わる関係施設職員、教育、療育、福祉関係者等	四天王寺和らぎ苑 理学療法士 リハビリテーション室 室長 榎勢道彦(Michihiko Enose)  座長 総合センター中央病院	ウインクあいち	80人
	③	第12回あいち小児在宅医療・福祉・教育研究会  小児期発達の発達障害のある児(者)の在宅医療体制の拡充を図るため、小児在宅医療の関係者が一同に会した東海三県小児在宅医療研究会を実施することにより、相互に理解を深めて、小児在宅医療の推進に寄与することを目的とする。  ○テーマ 「多機能事業所による医療的ケア児支援 ～地域共生社会への実現へ～」 ○基調講演 「未定」 ○シンポジウム 「未定」	12月15日(日) 13:00～17:00	病院小児科・新生児科・救急担当科等の勤務医、小児在宅医療に関心のある診療所医師、看護師(総合病院関係診療科、訪問看護ステーション、特別支援学校、福祉施設、介護事業所等に勤務看護師)、理学・作業療法士、教員、研究者、療育福祉関係者など	〈基調講演〉 信愛医療療育センター 大石明宣  〈シンポジウム〉 未定	名古屋大学 中央診療棟3階 講堂	200人
	④	重症心身障害児者関係施設等支援者研修「食べるコース」  重症心身障害児者の「食べる」喜びを支援できるよう、障害児者の摂食機能障害や食事に関わる支援方法について、理解を深める。 講演 「未定」	9月21日(土) 10:00～15:10	重症心身障害児者医療支援に関わる医師、看護師、リハビリスタッフ、栄養士、薬剤師、教員、療育・福祉関係者など	総合センター中央病院	総合センター	40人
	⑤	重症心身障害児者関係施設等支援者研修「リハビリコース」  障害児者のリハビリテーションに関わる知識や考え方を身につけ、総合的な支援ができる人材の育成を図る。 講演 「未定」	10月12日(土) 10:00～15:10	重症心身障害児者医療支援に関わる医師、看護師、リハビリスタッフ、教員、療育・福祉関係者など	総合センター中央病院	総合センター	40人
	⑥	重症心身障害児者、医療的ケア児の呼吸ケア研修  重症心身障害児者、医療的ケア児の医療を行う上で、呼吸ケアの知識・技術が必要となるため、呼吸障害の病態生理とそれらに対する治療法や対処法を学ぶことで、理解を深めスキルアップを図る。 講演 「未定」 実習 A: 医療機器実習 (人工呼吸器・排痰補助装置・気管カニューレ・口腔ケア) B: リハビリテーション実習 (ポジショニング体験・呼吸介助法)	11月17日(日) 10:00～15:10	障害児者医療・在宅医療に関わる医師、看護師、訓練士	総合センター中央病院	総合センター	40人
	⑦	重症心身障害児者看護実践研修  医療依存度の高い重症心身障害児者、医療的ケア児の支援に必要な看護技術のスキルアップを図る。 病棟実習・見学 呼吸介助、排痰介助、経管栄養、口腔ケア 人工呼吸器の取り扱い、排痰補助装置の説明及び使用場面などの見学 講演 「未定」 3日間のうち2日間実施(選択制)	日程未定 9月～12月の間 3日間 実習 9:30～12:30 講演 13:30～14:30	重症心身障害児者、医療的ケア児支援に関わる看護師	総合センター中央病院(実習) 内科混合病棟 外科混合病棟 HCU病棟  総合センター中央病院(講義) 医師 山田 桂太郎	総合センター 内科混合 外科混合 HCU	1日9人 計27人